

「異物混入抑止 リサイクルボックス」駅施設への一斉導入を実施 鉄道会社では全国初、りんかい線（東京都）

2022年4月から資源循環社会への取組みと、持続可能な社会を目指す「プラスチック資源循環促進法」が施行されたが、東京臨海高速鉄道株式会社・臨海副都心線「りんかい線」では、リサイクルボックス（以下：RB）の異物混入低減、質の高いPETボトルの回収、空き容器の散乱防止などの解決のため、異物混入抑止RB（アートファクトリー 玄社製）を鉄道会社として全国初となる一斉導入を実施した。

このRBの特徴として同社では、①投入口に関しては下から投入する仕様にすることによって、従来の「ゴミ箱」からの意識改革を図り、カップ投入時の詰り、異物混

入を抑える。②透明窓を本体中央へ備え、セキュリティ強化の観点からシースルー型デザインの採用。③異物混入抑止RBに貼ってあるオリジナルステッカーをオフィシャルストア（ECサイト）で発売。りんかい線イメージキャラクター「りんかる」からのリサイクルを呼びかけた。

こうした対応について、りんかい線の担当者は次のようなコメントをしている。

「導入後、駅からRBのカップ詰まりが少なくなった」「“りんかる”を採用したステッカーも好評です」と話す。

りんかい線では引き続き、こうした駅構内・周辺地域の環境美化の協力を訴えていく。



異物混入抑止リサイクルボックス
（アートファクトリー 玄社製）



RB用ステッカー



大井町駅構内の自販機横に設置されている、2タイプのリサイクルボックス



自販機横に設置されたリサイクルボックス